

第1会場

京都市勧業館みやこめっせ 3F 第3展示場 A

8:30～10:00 世界患者安全の日企画シンポジウム

座長：山本 啓央（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）

山口（中上）悦子（国際医療福祉大学成田病院 医療安全管理部）

こどものミカタ ～チームで取り組む小児患者の安全～

1 こどもと医療の質

○山口(中上) 悦子^{1,2}¹国際医療福祉大学院／医学部 医療の質・安全学、²国際医療福祉大学成田病院 医療安全管理部2 院内における「こども」の急変に対する医療安全
～あなたは「こども」の「ミカタ」ができますか？～

○新田 雅彦

大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室／大阪医科薬科大学 小児科学／大阪医科薬科大学 救急医学

3 こどものMACT (Monitor Alarm Control Team)

○富永 あや子

社会医療法人さいたま市民医療センター 臨床工学科

4 こどもの転倒転落

○笹 志寿子

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 医療安全推進部

5 チームで取り組む小児患者の安全

○山本 啓央^{1,2}¹名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部、²神奈川県立こども医療センター 医療安全推進部

10:10～11:40 世界患者安全の日企画パネルディスカッション

座長：徳平 夏子（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部・集中治療部）

新田 雅彦（大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室／大阪医科薬科大学 小児科学・救急医学）

小児重症例・小児集中治療における治療継続のための安全確保 ～課題と取り組み～

1 小児重症例での安全の取り組み・課題：薬剤投与について

○大西 絵梨

大阪大学医学部附属病院 薬剤部

2 小児重症例・小児集中治療における治療継続のための安全確保
～課題と取り組み～

○金澤 伴幸

岡山大学病院

3 小児重症例での安全の取り組み・課題：医療関連機器褥瘡

○北山 未央

金沢医科大学病院 看護部

4 小児重症例での安全の取り組み・課題：院内搬送について

○徳平 夏子^{1,2}¹大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部、²同 集中治療部

5 小児病院における医療安全の課題

○中川 聡

いわき市医療センター 集中治療部

13:00～13:30 会員総会・表彰式

13:30～14:20 教育講演 2

座長：中島 和江（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部／医療の質・安全学会理事長）

リスクマネジメントの観点から見た事故再発防止対策の導出：
羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会「中間取りまとめ」の考え方

○小松原 明哲
早稲田大学理工学術院

14:30～15:20 教育講演 3

座長：岡田 浩（和歌山県立医科大学薬学部 社会・薬局薬学）

ー心理的安全性外伝ー 医療安全における"黙る" ことについて考える

○辰巳 陽一
近畿大学病院安全管理センター、医療安全対策部、近畿大学血液・膠原病内科

15:30～16:30 教育講演 4

座長：相馬 孝博（千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部）

院内検討会を適確に運営するためにーロンドンプロトコル第2版をふまえてー

1 ロンドンプロトコル2024の注目点

○田中 和美
群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学

2 院内検討会の方法論

○相馬 孝博¹、田中 和美²
¹千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部、²群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学講座

16:30～16:40 閉会式

第2会場

京都市勧業館みやこめっせ 3F 第3展示場 B

8:30~10:00 パネルディスカッション 21

座長：箕 淳夫（工学院大学建築学部）

大石 雅子（滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科）

【施設環境委員会企画】

転倒の施設環境要因分類を現場に適用する

1 施設環境・建築の視点から見た転倒分類とタイプ別の施設環境対策

○渡辺 玲奈

株式会社 竹中工務店 医療福祉・教育本部

2 転倒の施設環境要因分類を本院に適用してみた

○宮崎 浩彰

関西医科大学医療安全管理センター

10:10~11:40 学会連携企画パネルディスカッション 2

座長：飛田 伊都子（大阪医科薬科大学 看護学部）

高野 佳子（医療法人清水会）

【医療の質・安全学会／日本看護管理学会連携企画】

タスクシフト・タスクシェアの課題と展望ー今、質・安全管理者に求められる戦略ー

1 タスク・シフト／シェアの課題と展望

ー医療の質と安全を担保した看護実践のために求められる看護管理者の戦略ー

○箕浦 洋子

関西看護医療大学 看護学部看護学科／看護学研究科

2 在宅医療におけるタスクシェアと多職種連携における特定看護師の役割と課題

○辻本 雄大

クリケア訪問看護ステーション

3 在宅療養児の医療の質と安全を守り、育ちを支える地域での取り組み

○熊谷 智子

医療法人社団思葉会 MEIN HAUS 児童発達支援・放課後等デイサービス

4 特定看護師の実践的活用とマネジメント体制
～病院の質と安全性向上に寄与するために～

○西和田 忠

奈良県立医科大学附属病院 医療の質・安全管理センター 麻酔科学教室

13:30~15:30 パネルディスカッション 22

座長：武田 理宏（大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学）

滝沢 牧子（埼玉医科大学総合医療センター 医療安全管理学）

【医療安全に資する医療情報システム検討に関する合同委員会企画】

はじまる！医療DXー持続可能な医療と医療安全の実現に向けてー

1 始まる医療DX、価値ある情報共有サービスにしていくために共に考える

○滝沢 牧子

埼玉医科大学総合医療センター 医療安全管理学

2 薬剤アレルギー等情報を多施設で共有する未来のために知っておきたいポイント

○橋詰 淳哉

長崎大学病院 薬剤部

3 ヨード・ガドリニウム造影剤の副作用情報共有にあたっての課題

○対馬 義人

群馬大学大学院医学系研究科放射線診断核医学

- 4 **どうする！病院給食における食物アレルギーの危機管理**
○今井 孝成
昭和医科大学医学部小児科学講座
- 5 **食物の禁忌・アレルギー等情報の共有における留意点と、活用のための考え方**
○北村 温美
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
- 6 **電子カルテ情報共有サービスに対する電子カルテシステムの対応とモデル事業における課題の共有**
○駒井 理弘
保健医療福祉情報システム工業会
- 7 **薬剤師からみる薬剤アレルギー情報の病院内での管理における諸課題**
○横山 威一郎
千葉大学医学部附属病院 薬剤部

15:40～16:30 第21回医療の質・安全学会学術集会 キックオフミーティング

第3会場

京都市勧業館みやこめっせ 1F 第2展示場 A

8:30~10:00 パネルディスカッション 23

座長：渡邊 幸子（医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院）
舟越 亮寛（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部）

どう防ぐ？医薬品事故！販売名・包装等に起因するインシデント防止に向けた医療現場からの提言

1 医薬発935号通知（平成12年9月19日）の発出当時の背景とその後について

○土屋 文人
元国際医療福祉大学薬学部

2 医療事故を防止するための医薬品の表示事項及び販売名の取り扱いに関するアンケートから見てきたもの

○佐々木 順哉
AMG 白岡中央総合病院 薬剤部

3 医薬品関連の医療事故防止を目的とした医薬品包装の変遷について

○滝沢 良博
日本製薬団体連合会・安全性委員会・医薬品安全使用対策検討部会

4 PMDAのこれまでの取組と935号通知の問題点

○沼田 恵理
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全性情報・企画管理部 リスクコミュニケーション推進課

10:10~11:40 パネルディスカッション 24

座長：落合 慈之（東京医療保健大学）
水本 一弘（滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻）医薬品、医療機器の識別コードとデータ活用の可能性を探る
ー取り間違いの防止の先にある真のバーコード活用と医療安全ー

1 医療製品のバーコード表示とデータ登録の推進

○南 亮介
厚生労働省医薬局医薬安全対策課2 医療用医薬品における情報活用の現状と課題
ー“正しく使う”から“活かす”へー○池田 和之
奈良県立医科大学附属病院

3 医療機関におけるGS1バーコードの活用

○八瀬 文克、村山 陸、松村 悠希、齋藤 竜一、小島 健、水野 友絵、篠田 悟
愛知県がんセンター医療安全管理部医療機器管理室4 医療製品のトレーサビリティへの展望と課題
ーデータに基づくコスト・ベネフィット分析ー○新井 洋司
一般社団法人 医療トレーサビリティ推進協議会

12:00~12:50 教育セミナー 8

座長：田村 彰（和歌山県立医科大学附属病院 医療安全推進部）

医療安全管理者とインシデントレポートの“モヤモヤ感”を解きほぐす

○新田 雅彦
大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室

共催：株式会社メディシステムソリューション

13:20~14:50 パネルディスカッション 25

座長：渡邊 幸子（医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院）
武藤 浩司（新潟市民病院 薬剤部）

多職種連携で取り組む持続可能なポリファーマシー対策
～薬物関連問題の解消と医療の質向上に向けて～

1 持続可能なポリファーマシー対策 ～服薬簡素化と多職種連携～

○竹屋 泰
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻老年看護学教室

2 安全に視点を置いた向精神薬のポリファーマシー対策

○別所 千枝
JA広島厚生連 尾道総合病院

3 多職種ポリファーマシー委員会による転倒転落防止への期待 ～リハ薬剤の視点～

○中道 真理子
原土井病院 薬剤部

4 知的障がい者施設における、ポリファーマシーの現状と問題点

○上野 正文
神奈川県立中井やまゆり園

15:00~15:30 教育講演 5

座長：飛田 伊都子（大阪医科薬科大学 看護学部）

医療の質と安全を支える研究手法の基礎と最前線

○比良野 圭太
京都大学医学研究科臨床研究開発学

第4会場

京都市勧業館みやこめっせ 1F 第2展示場 D

8:30~10:00 シンポジウム 7

座長：長谷川 剛（泉大津急性期メディカルセンター）
滝沢 牧子（埼玉医科大学総合医療センター 医療安全管理学）そのチーム、患者さんから見えていますか？
～医療安全を促進するチーム医療への患者参加を考える～

1 チームABCと患者力の視点から考える、チーム医療と患者参画

○東 光久
奈良県総合医療センター 総合診療科

2 チーム医療と患者参加による転倒・転落予防の取り組み

○田端 洋貴¹、辰巳 陽一²
¹近畿大学病院 リハビリテーション部、²近畿大学病院 安全管理部

3 NST介入による患者参加型の栄養療法と自己効力感の向上：管理栄養士の役割

○畑 勝智^{1,2}、馬場 千歳^{1,2}、渡邊 薫子^{1,2}、田中 帆乃美^{1,2}、岡本 加世子^{1,3}、武田 莉奈^{1,3}、
柳川 涼花^{1,3}、浅香 倫子^{1,4}、吉山 志織^{1,5}、郷間 巖^{1,6}
¹堺市立総合医療センター 栄養サポートチーム、²栄養管理科、³看護局、⁴薬剤科、
⁵リハビリテーション技術科、⁶呼吸器内科4 患者が安心して“参加”できる助けとなる関わりとは
～20代の希少がん患者から見た「チーム医療」～○藤田 理代
michi-siruve

10:10~11:40 パネルディスカッション 26

座長：田中 宏明（清水建設株式会社）
金子 雅明（東海大学情報通信学部情報通信学科）病院への質マネジメント導入・推進による効果とは何か？
～導入事例からその効果と課題を探る～

1 病院への質マネジメントシステム(QMS)とその導入・推進

○金子 雅明
東海大学情報通信学部情報通信学科

2 QMS導入・推進に関する評価指標の導出について

○下野 僚子
早稲田大学 理工学術院

3 埼玉病院における方針管理の導入とその効果

○細田 泰雄
独立行政法人国立病院機構埼玉病院

4 医療現場におけるQMS導入の効果検証：慢性期病院の取り組み

○進藤 晃
医療法人財団 利定会 大久野病院 理事長

13:30~14:30 パネルディスカッション 27

座長：安藤 廣美（麻生飯塚病院心臓血管外科）
坪 茂典（オフィス62 プランニング）

TQM実装のトリセツ（3）～管理の定着、水平展開、QIとモニタリング～

1 標準化と水平展開のための組織づくり ～実践例の紹介～

○田中 良一郎
医療法人宝生会PL病院

- 2 **標準化を徹底するための周知とトレーニング ～ TWI-JIのすすめ～**
 ○山口(中上) 悦子^{1,2}
 ¹国際医療福祉大学大学院／医学部 医療の質・安全学、²国際医療福祉大学成田病院 医療安全管理部
- 3 **標準化、管理の定着のための業務のプロセスフローチャート**
 ○田中 宏明
 清水建設株式会社
- 4 **QIの継続的なモニタリングと改善活動の実際**
 ○上田 英一郎
 大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部 QI管理室

14:40～15:40 パネルディスカッション 28

座長：伏見 清秀（東京科学大学大学院医療政策情報学分野）
 深見 達弥（島根大学医学部附属病院 医療安全管理部）

いま、あらためて医療の質の可視化を考える ～改善につながる質評価とは～

- 1 **医療の質可視化の試みと現在の考え方**
 ○長谷川 友紀
 東邦大学医学部社会医学講座
- 2 **医療の質の可視化と質改善の取り組み ～国内の各団体の取り組み～**
 ○猪飼 宏
 京都府立医科大学附属病院
- 3 **見える医療、変わる現場 ～改善のための可視化とモニタリングの実際～**
 ○鳥羽 三佳代
 東京科学大学クオリティ・マネジメント・センター
- 4 **臨床実践を科学する ～現場から生まれるエビデンス～**
 ○森脇 睦子
 東京医科歯科 医療本部 クオリティ・マネジメント・センター

第5会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 第1展示場 A

8:30~10:00 学会連携企画パネルディスカッション 3

座長：森下 真理子（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）

【医療の質・安全学会／医療安全全国共同行動患者安全行動計画8企画】

医療事故調査における対話のあり方：異なる立場から医療事故調査のコミュニケーションを考える

- 1 医療事故調査における対話のあり方：患者の立場から
○片木 美穂
卵巣がん体験者の会スマイリー
- 2 医療事故調査における対話のあり方：医療側当事者の立場から
○横井 暁子
兵庫県立こども病院 小児外科
- 3 医療事故調査における対話のあり方：看護師・医療安全管理者の立場から
○林 知江美
医療法人社団志高会 三菱京都病院 医療安全管理部
- 4 医療事故調査における対話のあり方：医師・医療安全管理責任者の立場から
○垣尾 匡史
京都民医連中央病院 医療安全管理部

10:10~11:40 パネルディスカッション 29

座長：棟近 雅彦（早稲田大学理工学術院）

松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）

ISO 9001と第三者認証を活用したQMSの効果的な導入・推進

- 1 京都大学医学部附属病院におけるISO 9001と第三者認証の活用
○森 由希子、中岡 美紀、松村 由美
京都大学医学部附属病院
- 2 ISO9001の継続運用からTQMへ 医療現場における改善文化の醸成
○手島 伸
独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター TQM推進室
- 3 QMS導入・推進におけるISO 9001と第三者認証の意義
○棟近 雅彦
早稲田大学理工学術院

12:00~12:50 教育セミナー 9

座長：近本 亮（熊本大学病院 医療の質・安全管理部）

RFIDによる医療革命 安全・効率・信頼の新時代へ

ーテクノロジーが支える、ヒューマンエラーゼロへの挑戦ー

- 1 医療現場におけるRFID（無線自動認識技術）導入の実践知 患者安全・業務効率・可視化の三位一体モデル
○深見 達弥
島根大学医学部附属病院 医療安全管理部
- 2 医療安全を支えるスマートポンプとRFIDの 京大病院における活用の検討
○岡本 和也
フィッティングクラウド株式会社

共催：テルモ株式会社

13:20～14:50 パネルディスカッション 30

座長：小泉 幸司（京都大学医学部附属病院 放射線部）
大野 和子（京都医療科学大学）

【医薬品・医療機器・放射線安全委員会企画】

放射線検査部門のナゾに迫る？ ～あなたの知らない放射線部門～

1 放射線治療の実際 ～がん看護専門看護師の立場から～

○後藤 志保

がん研究会有明病院 看護部

2 放射線治療の特徴と医療安全 ～診療放射線技師の立場から～

○佐々木 誠

京都大学医学部附属病院 放射線部

第6会場

京都市勧業館みやこめッセ B1F 第1展示場 B

8:30～10:00 シンポジウム 8

座長：中村 信太郎（弁護士法人大江橋法律事務所）

医療者と法曹による臨床倫理相談事例の検討 一 家族による「代諾」問題に挑むー

1 家族が患者の代わりに治療方針について「承諾する」ことは適切なのか

○松村 由美

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

2 認知症の人の意思決定支援と医療同意能力評価：
『代諾』に依存しない実践のために

○成本 迅

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

3 家族等による代諾の法的問題点と現場での対応方法

○山本 龍太郎

弁護士法人大江橋法律事務所

○中村 信太郎

弁護士法人大江橋法律事務所

10:10～11:40 パネルディスカッション 31

座長：佐藤 一樹（医療法人社団いつき会ハートクリニック）

乳腺外科医冤罪事件の検証：覚醒時せん妄に対するリスクマネジメント

1 捜査機関・法曹・司法に対する信頼の崩壊から院内リスクマネジメントへ

○佐藤 一樹¹、関根 進²、八巻 秀人³、水沼 直樹⁴¹医療法人社団いつき会ハートクリニック、²公立学校共済組合 関東中央病院、³医療法人財団健和会 柳原リハビリテーション病院、⁴東京神楽坂法律事務所

2 覚醒時せん妄症例の手術へ至る経緯と、実際に直面した事実

○関根 進

公立学校共済組合 関東中央病院

3 覚醒時せん妄患者による術後トラブルの経験と再発予防・防止について

○八巻 秀人

医療法人財団 健和会 柳原病院 外科

4 術後（覚醒時）せん妄の Legal Management

○水沼 直樹

東京神楽坂法律事務所／東邦大学大学院医学研究科／福島県立医科大学

12:00～12:50 教育セミナー 10

司会：秦 政彦（パラマウントベッド株式会社）

がん患者の生きる力につながる「睡眠」をサポートするための挑戦
～睡眠状況の可視化と入院環境における看護の質改善～

○山根 康子

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 看護部

○三井 綾乃

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 看護部

○小山 恭子

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 看護部

○日野 輝隆

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 医療クオリティマネジメントセンター

共催：パラマウントベッド株式会社

13:20~14:50 パネルディスカッション 32

座長：兼児 敏浩（三重大学医学部附属病院 医療安全管理部）
和田 啓子（京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部）

上質な医療の提供に不可欠な管理栄養士の役割

**1 ICUや心不全カンファレンスにおける管理栄養士の専門性
－薬剤師との協働から見える医療安全－**

○西村 健二¹、高瀬 綾子²、林 宏美²、柏谷 香緒里²、徳田 衡紀¹

¹倉敷中央病院 薬剤部、²倉敷中央病院 栄養治療部

2 管理栄養士の病棟専従配置による成果と課題

○石田 優衣

三重大学医学部附属病院 栄養診療部

3 栄養サポートチームの現状と役割

○真壁 昇

関西電力病院疾患栄養治療センター

4 自施設における褥瘡対策チームでの管理栄養士の課題

○長谷川 由紀¹、前田 葉月¹、廻神 朱里¹、三宅 奈穂¹、西川 友加里¹、馬場崎 仁美¹、
小西 倫世²

¹洛和会音羽病院 栄養管理室、²洛和会音羽病院 看護部

5 摂食嚥下診療センターにおける成果と課題

○佐藤 真理^{1,5}、末廣 篤^{2,5}、岩永 健^{2,5}、嶋田 義仁^{3,5}、山口 茜^{3,5}、森永 浩介^{4,5}、吉野 楓⁵、
京川 由季⁵、渡邊 愛未^{5,6}、田中 絵美^{5,7}

¹京都大学医学部附属病院 看護部、²京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、

³京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部、⁴京都大学医学部附属病院 リハビリテーション科、

⁵京都大学医学部附属病院 摂食嚥下診療センター、⁶京都大学医学部附属病院 薬剤部、

⁷京都大学医学部附属病院 歯科口腔外科

第7会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 日図デザイン博物館 B

8:30~10:00 パネルディスカッション 33

座長：小松 康弘（板橋中央総合病院 総合内科）
飛田 伊都子（大阪医科薬科大学 看護学部）【学術委員会／学会誌編集委員会／医療の質・安全調査研究倫理審査委員会企画】
医療の質・安全に関連する研究倫理の課題と関連委員会、そして学会の役割 ～ Part2～

医療の質・安全に関する調査研究と倫理審査

基調講演：田代 志門（東北大学大学院文学研究科社会学専攻分野）

パネリスト：和佐 勝史（滋慶医療科学大学大学院）

飛田 伊都子（大阪医科薬科大学 看護学部）

石松 一真（滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻）

10:10~11:40 パネルディスカッション 34

座長：徳和目 篤史（大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部）
山口（中上）悦子（国際医療福祉大学成田病院 医療安全管理部）

「患者安全を学ぶ」ということ ～より良い実践と研究のループ～

1 業務実践を大学院の研究に結びつけるアイデア

○小出 直樹¹、徳和目 篤史²、加藤 良一³、田中 明日花⁴、大西 輝幸⁵、山口（中上）悦子^{6,7}¹大阪公立大学医学部附属病院 医療安全センター 新規技術・医薬品審査部、²大阪公立大学医学部附属病院 医療安全センター 医療の質・安全管理部、³大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部、⁴聖路加国際病院 麻酔科、⁵堺市立総合医療センター 臨床工学科、⁶国際医療福祉大学大学院 医療の質・安全学、⁷国際医療福祉大学成田病院 医療安全管理部

2 業務と研究を両立しながら実践につながる医療安全の研究へ

○飯田 恵

京都大学医学部附属病院 看護部看護管理室

3 実務者・大学院研究生として業務実践を通して論文発表を行った立場から

○徳和目 篤史

大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部

4 指導に関わる研究者の立場から

○森下 真理子

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

13:20~14:50 パネルディスカッション 35

座長：小泉 俊三（東光会 総合医学研究所／Choosing Wisely Japan）
北澤 京子（医療ジャーナリスト／Choosing Wisely Japan）

Less, but Better ーよりよい医療をより安く ～高価値医療をめざして

1 大規模データからみた我が国の Low-Value Care の現状と対策

○宮脇 敦士

筑波大学医学医療系 社会医学研究グループ 公共健康政策分野

2 薬剤耐性（AMR）アクションプランの進捗状況

○大曲 貴夫

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター

3 Micro, Meso, Macro レベルからみた我が国の医療の質と医学教育の現状

○和足 孝之

京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター

第8会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 日図デザイン博物館 A

8:30~10:00 パネルディスカッション 36

座長：徳山 薫（東京大学医学部附属病院 看護部）

原 健太郎（熊本大学大学院生命科学研究部 環境社会医学部門 基盤看護学）

周術期におけるチーム医療のあり方 ～手術医療の質と安全を担保するためには～

- 1 今後の手術医療の質と安全を担保するために外保連が目指す方向性
○瀬戸 泰之
国立がん研究センター中央病院
- 2 手術医療の安全と質を担保するための手術室看護師の現状と課題
ー日本手術看護学会の実態調査から見たことー
○ミルズ しげ子
日本手術看護学会(長野保健医療大学 看護学部)
- 3 手術医療の質と安全を守る看護師配置の在り方
○武村 雪絵
東京大学医学部附属病院 看護部
- 4 周術期の質と安全を担保するためのチーム医療の体制とは；麻酔科医の視点から
○内田 寛治
東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター
- 5 手術医療の質と安全を担保するために臨床工学技士会が目指す方向性
○北本 憲永^{1,2,3}、藤田 智一³、野澤 隆志³、磯谷 佳史³、上塚 翼³、佐々木 慎理³、菊地 徹³、
佐藤 邦昭³、木村 政義³、野村 知由樹³
¹藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 臨床医工学分野、²藤田医科大学病院 臨床工学部、
³公益社団法人 日本臨床工学技士会 手術業務検討委員会

10:10~11:40 パネルディスカッション 37

座長：錦織 達人（京都市立病院 総合外科）

池本 哲也（徳島大学病院 安全管理部）

手術の医療の質・安全を系統的に考え・学ぶ ～安全管理部門と現場の協働～

- 1 若手外科医が目指す手術と行っている取り組みの実際
○影山 悠¹、錦織 達人¹、奥田 雄紀浩¹、玉置 信行¹、森 友彦¹、上 和広¹、松尾 宏一^{1,2}、
秦 浩一郎¹、岡野 創造²
¹京都市立病院 総合外科、²京都市立病院 医療安全部
- 2 手術の安全を系統的に考え実践する
○錦織 達人、松尾 宏一、秦 浩一郎
京都市立病院 外科
- 3 手術を行う医師にとっての医療安全とは：医療安全管理者の視点
○後 信
九州大学病院／公益財団法人日本医療機能評価機構
- 4 医療の質と外科手術
○工藤 篤
東京科学大学大学院 医療安全管理学分野
- 5 外科医と安全管理者との真の協働とは
○近本 亮、立津 央、北島 ちひろ、大島 木綿子、境田 智子、宮本 晋治、山下 大輔、
今村 裕子
熊本大学病院 医療の質・安全管理部

13:30~14:30 パネルディスカッション 38

座長：谷口 雄司（鳥取大学医学部附属病院 医療安全管理部）

新開 裕幸（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部）

災害時の患者安全の確保を念頭にしたBCPを作っていますか？

～専門職横断業務について今考えておくこと～

1 平時からの訓練と経験を有事に活かす様々な知識と教材

○高橋 敬子¹、江口 明世¹、笹沼 直樹^{1,2}

¹兵庫医科大学 医学部 医療クオリティマネジメント学、²兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部

2 算出より導く災害時の医療リソースの最適化

～データサイエンス研究者の立場から～

○阪野 朱音

順天堂大学大学院 医学研究科 データサイエンスコース

3 現場を知る医療者が導く災害時医療リソースの最適化と医療資源の限界

○渡邊 暁洋¹、平田 淳一^{1,2}、山田 太平²

¹兵庫医科大学 危機管理医学講座、²兵庫医科大学 救急・災害医学講座

4 VADコーディネーターが直面する災害時の患者安全の確保と限界

○東雲 紀子

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 看護部

14:40~15:40 パネルディスカッション 39

座長：山崎 宏人（金沢大学附属病院 医療安全管理部）

板井 進悟（金沢大学附属病院 医療安全管理部）

令和6年能登半島地震から学ぶクライシスマネジメント

1 震源地にある珠洲市総合病院での災害対応について

○中野 貴義

珠洲市総合病院 薬局

2 令和6年能登半島地震における大学病院の対応と課題

○岡島 正樹

金沢大学医薬保健研究域医学系 救急・災害医学分野

3 地震直後に発生した病院への地域住民・旅行者等の避難者への対応

○北市 佳子、福田 裕子、楢野 良知、北井 隆平

加賀市医療センター

第9会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 特別展示場 A

8:30～9:20 一般演題(口演) 24 活動報告 座長：浦松 雅史(東京医科大学 医療の質・安全管理学分野)

周術期

0-24-1 手術室における閉創前タイムアウトの確実な実施に向けた取り組み

○櫻間 知佐子
トヨタ記念病院 中央手術室

0-24-2 ロボット支援下手術におけるコンバージョン基準運用の影響

○吉田 裕二郎¹、近本 亮²、立津 央²、宮田 辰徳³、渡邊 玲子¹
¹熊本大学病院 中央手術部、²熊本大学病院 医療の質・安全管理部、
³熊本大学病院 地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座

0-24-3 手術および侵襲的処置後31日以内の死亡症例を検討した結果と効果

○吉田 和子
医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院

0-24-4 多職種で実施する手術オカレンス検討会の取り組み

○本鍋田 由美子、福澤 知子、榎本 武治、長田 尚彦、民上 真也、井上 莊一郎、山崎 桂、
高倉 永治、布谷 大輔
聖マリアンナ医科大学病院

0-24-5 手術室における体内遺残防止に対する対策

○森岡 浩一¹、山口 愛子¹、寺澤 優子¹、高柴 綾子¹、井上 麻里子¹、小久保 安朗²、
田中 裕生子²、立石 敏樹³
¹福井大学医学部 医療安全管理部、²福井大学医学部 手術部、³福井大学医学部 放射線部

9:30～10:30 一般演題(口演) 25 活動報告 座長：松村 泰志(国立病院機構 大阪医療センター)

情報管理

0-25-1 文書管理システムの文書閲覧数を増やすことができた試み

○松井 敦¹、沼居 綾²、清水 智子²、平井 功²、新井 智和²
¹前橋赤十字病院 小児科、²前橋赤十字病院 医療安全管理課

0-25-2 患者参画促進が期待されるスマートフォンと電子カルテの連携

○羽藤 慎二¹、砂野 由紀²、山下 貴範³、佐藤 直市³、岡田 美保子⁴、中熊 英貴⁵、中島 直樹³
¹国立病院機構四国がんセンター 消化器外科、
²国立病院機構四国がんセンター 地域クリニカルパス開発研修室、
³九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター、⁴一般社団法人医療データ活用基盤整備機構、
⁵済生会熊本病院

0-25-3 A病院のERにおける患者誤認防止に向けての活動

○樹神 妃花
トヨタ記念病院 ER

0-25-4 報告書管理チームの2年間の活動と今後の課題

○木下 朋幸¹、大池 理詠²、関口 歩²、皆川 宗輝³、渡邊 亮輔⁴、熊谷 二郎⁵、渋谷 寧^{2,6}、
武居 哲洋^{2,7}
¹横浜市立みなと赤十字病院 検査部、²同 医療安全推進室、³同 臨床工学部、⁴同 放射線科、
⁵同 病理診断科、⁶同 感染症科、⁷同 救命救急センター0-25-5 新たな記録システムを導入する大変革への挑戦
～看護記録「チームコンパス」の導入～○服部 佳世子¹、中山 徳子²、仲江 洋子²、松岡 その子²、井月 千晴³、藤本 早和子²
¹京都府立医科大学附属病院 脳神経センター、²京都府立医科大学附属病院 看護部、
³京都府立医科大学附属病院 患者サポートセンター

0-25-6 入院患者の患者誤認「ゼロ」を目指した取り組み
～業務改善計画書の活用と誤認防止ラウンド～○川勝 真由美
亀岡市立病院

10:40～11:40 一般演題(口演) 26 活動報告 座長：石松 一真(滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科)

医療の質 (4)

0-26-1 患者用パスを活用した患者参画の推進 ～四国がんセンターでの取り組み～

○砂野 由紀、羽藤 慎二
国立病院機構四国がんセンター

0-26-2 ヒヤリハットを見える化したリスクアセスメントの取り組み

○児玉 裕治、井嶋 晋太郎、宮内 敦由、山口 聖、渡部 真理、小檜山 紘、中村 康彦
横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部

0-26-3 初診患者待ち時間短縮の試みとその効果

○高橋 将人¹、入月 聖晴²、飯田 崇¹、吉原 真由美¹、佐々木 京子²、新村 郁子³、井上 完起⁴、
七里 守²
¹榊原記念病院 医事課、²榊原記念病院 医療の質・安全管理部、³榊原記念病院 連携・支援課、
⁴榊原記念病院 循環器内科

0-26-4 TATデータや動線データ解析を活かした検体検査室の質改善への取り組み

○菊池 尚美、成島 瑞樹、岡野 正道、武藤 圭一、渡邊 寛子、松本 大貴、菊地 啓太、
川崎 智章
水戸済生会総合病院 医療技術部 臨床検査科

0-26-5 多職種が一体となってテープテア予防対策へ取り組めるようにした院内の仕組み作り

○櫻井 有世¹、牟田口 有紀²、岩塚 明美¹、池亀 俊美¹、佐々木 京子³、藪野 雄大⁴、角 康平⁵、
岩倉 具宏⁵
¹公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 看護管理部、
²公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 看護部、
³公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 医療安全管理室、⁴日本医科大学多摩永山病院 形成外科、
⁵公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 心臓血管外科

0-26-6 当院における「問題解決プラン作成シート」を使用した取り組み

○市瀬 雄一¹、吉沢 利香²
¹飯田市立病院 薬剤部、²飯田市立病院 医療安全管理部

12:00～12:50 教育セミナー 11 座長：三浦 誠(洛和会音羽病院 薬剤部／本部技術部門統括室)

多職種介入による慢性腎臓病診療の質向上 ～薬剤師と医師の視点から～

1 保存期CKD患者を守るために薬剤師ができること

○大城 匡史
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 薬剤科

2 CKD診療の質と安全性を高める地域連携

○西平 守邦
社会医療法人友愛会 友愛医療センター 腎臓内科

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

13:20～14:00 一般演題(口演) 27 研究発表

座長：林 知江美(三菱京都病院 医療安全管理部)

労働安全

0-27-1 オムツ交換時の腰部にかかる負担 ～筋電計を用いた調査～

○中山 孝枝、本山 命、石川 桂子
医療法人社団健育会 熱川温泉病院

0-27-2 がん性疼痛を抱える入院患者との関わりで感じたA病院の看護師の困難について

○橋本 和季、佐野 佐知、中田 彬、斉藤 みさ江
東北医科薬科大学病院0-27-3 Cross-over Interaction(交差的相互作用)に導かれる時間外労働の構造
～リハビリ職員における年齢と性別の交差点が映す、現代医療労働の歪み～○根本 敬
湘南鎌倉総合病院 品質管理室0-27-4 看護業務量調査と看護師動線の実態調査からみえる業務改善への期待
～病棟特有の忙しさの分析から～ 第二報○窪田 可奈子¹、山田 寛子¹、清水 淑未¹、柿並 ますみ¹、多田 真由美¹、諏訪 万恵¹、
矢部 剛生²、渡邊 志麻子²¹福井大学医学部附属病院、²株式会社ケアコム

第10会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 特別展示場 B

8:30～9:20 一般演題(口演) 28 活動報告 座長：武居 哲洋(横浜市立みなと赤十字病院 救命救急センター)

医療機器(3)

0-28-1 輸液ポンプと経腸栄養ポンプのシェア運用の提案

○宮本 友佳、松岡 諒、秋山 裕輝、杉江 舜、古谷 乗、荒井 和美、木村 好文
自治医科大学附属病院 臨床工学部

0-28-2 多職種で構成する医療安全管理部門のメリット ～そこに臨床検査技師は必要か～

○植木 輝^{1,6}、寺澤 友基子^{2,6}、二階堂 名奈^{3,6}、渡邊 奈津子^{4,6}、北川 亘⁵、伊藤 公一⁵
¹伊藤病院 診療技術部 臨床検査室、²伊藤病院 診療技術部 薬剤室、³伊藤病院 看護部 医療相談室、
⁴伊藤病院 診療部 内科、⁵伊藤病院 診療部 外科、⁶伊藤病院 医療安全管理室

0-28-3 “点滴はもう絡まらない”医療現場の課題から生まれた点滴整理デバイス『カラフルラインホルダー』

○横川 裕大^{1,2,3}、小鯖 貴子^{3,4}、工藤 大介^{1,2}、中山 啓子⁴
¹東北大学病院高度救命救急センター、²東北大学大学院医学系研究科救急医学分野、
³東北大学未来型医療創造卓越大学院プログラム、
⁴東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門

0-28-4 透析室における塩素ガス発生事故防止の取り組み

○酒井 和宣、久保 和彦、永田 千佳、河波 豊、三苫 朝、日下部 美奈子
千鳥橋病院 臨床工学科

0-28-5 当院における医療機器管理部門の医療安全への関わりと現状

○相木 一輝^{1,2,4}、藤井 雄介^{1,2,4}、中村 智裕²、新美 伸治¹、一柳 宏¹、野口 悟司²、川嶋 啓揮^{1,2}、
梅村 朋³、長尾 能雅³、藤原 道隆⁴
¹名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部、²名古屋大学医学部附属病院 医療機器総合管理部、
³名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部、⁴名古屋大学 大学院医学系研究科 メディカルxRセンター

9:30～10:30 一般演題(口演) 29 活動報告 座長：畔柳 信吾(碧南市民病院 医療安全管理室)

医療機器(4)

0-29-1 「医療機器点検の日」が医療機器の安全に与えた効果

○鈴木 雄太^{1,2}、瀧口 未希^{1,2}、高橋 星雅^{1,2}、小松 亜紀^{1,2}、坂本 千尋³、杉浦 剛³、西條 文人^{3,4}、
田畑 雅央³、庄内 千紘^{1,2}、亀井 尚⁴
¹東北大学病院 医療機器安全管理室、²東北大学病院 診療技術部 臨床工学部門、
³東北大学病院 医療安全推進室、⁴東北大学病院 総合外科

0-29-2 生体情報モニター緊急アラームの気づきを高めるシステム導入～多職種連携による取り組み～

○箱田 美知恵¹、新井 正康²、宮島 慧³、荒井 有美³、武田 章数⁴、木下 春奈⁴、岩崎 聡臣⁵、
渡辺 忠徳⁵、前田 和章⁶、内山 勝文^{3,7}
¹北里大学病院 看護部、²北里大学医学部 新世紀医療開発センター、³北里大学病院 医療安全推進室、
⁴北里大学病院 ME部、⁵北里大学病院 事務部、⁶北里研究所 ICT推進センター、
⁷北里大学医学部 医療安全・管理学研究部門

0-29-3 小児専門病院におけるモニタ装着基準作成の試み

○相原 厚美¹、牧田 彰一郎²
¹静岡県立病院機構 静岡県立こども病院 外来、²静岡県立病院機構 静岡県立こども病院 医療安全管理室

0-29-4 多角的介入による生体情報モニタのテクニカルアラーム低減とその効果

○佐々木 雄一¹、右近 好美²、丸山 弘美³、倉田 薫³、川尻 将守¹、松本 拓也⁴、佐藤 恵⁵、小菅 誠^{5,6}、瀧浪 将典⁷

¹東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部、²東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部、

³東京慈恵会医科大学附属病院 看護部、⁴東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科、

⁵東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全推進部、⁶東京慈恵会医科大学附属病院 下部消化管外科、

⁷東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部門

0-29-5 当院における生体情報モニタアラームの軽減に対する活動

○笹山 真一¹、山口 晋¹、永井 守¹、田中 果絵¹、吉本 敬一^{1,2}、濱田 裕子²、油谷 伊佐央²、渡辺 一洋²

¹黒部市民病院 医療技術部 臨床工学科、²黒部市民病院 医療安全管理室

0-29-6 多職種連携で築く医療機器の安全文化

－教育を軸としたMEセンターの取り組み－

○阿部 豪介¹、大石 美枝²

¹大分赤十字病院 医療技術部臨床工学技術課、²大分赤十字病院看護部医療安全推進室

10:40～11:40 一般演題（口演）30 活動報告

座長：松島 久雄（獨協医科大学埼玉医療センター 救命救急センター）

医療機器（5）**0-30-1 生体情報モニタテクニカルアラーム削減に向けた活動報告**

○酒井 花佳、間中 泰弘、恵 哲馬、廣浦 徹郎、森 千鶴、樺山 大智、藤田 千秋

医療法人豊田会 高浜豊田病院

0-30-2 ATP拭き取り検査を用いた医療機器の汚染度調査

○恵 哲馬、間中 泰弘、廣浦 徹郎、酒井 花佳、森 千鶴、樺山 大智、藤田 千秋

医療法人豊田会 高浜豊田病院

0-30-3 テクニカルアラーム低減に向けた取り組み

○山本 真理¹、市川 昌代¹、柴田 淳子¹、郡司 藍²、小園 利加²

¹トヨタ記念病院 8D病棟、²トヨタ記念病院 医療安全管理グループ

0-30-4 生体情報モニターアラーム適正化に向けた取り組み

○原口 忠相¹、道源 ゆかり¹、手嶋 伸江¹、川畑 恵理子¹、長谷川 涼子²、坂本 和生³、牧 盾⁴、後 信¹

¹九州大学病院 医療安全管理部、²南棟10階病棟、³循環器内科、⁴集中治療部

0-30-5 生体情報モニタ適正使用に向けたテクニカルアラーム低減の取り組み

○江利山 衣子、中野 育美

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 看護部

0-30-6 インシデントレポートに基づく医療材料管理の課題と臨床工学技士の役割

○橋本 美和¹、川上 千晶¹、山田 文哉¹、伴野 誠幸¹、小田 真矢¹、杉村 直紀¹、泉谷 裕則^{1,2}

¹愛媛大学医学部附属病院 ME機器センター、²愛媛大学大学院医学系研究科 心臓血管・呼吸器外科学

12:00～12:50 教育セミナー 12

座長：笠原 聡子（滋賀医科大学医学部看護学科 基礎看護学講座）

医療現場における転倒骨折を防ぐ床材**1 転倒骨折リスク低減床材の性能評価理論と標準化**

○伊藤 安海

山梨大学大学院総合研究部 工学域 機械工学系（機械工学）

2 介護・リハビリ施設における転倒事故と安全床の有用性

○来栖 宏二
アゼリーグループ

共催：TOPPAN株式会社

13:20～14:20 一般演題（口演）31 研究発表 活動報告 座長：藤井 耕（京都民医連あすかい病院 医療安全管理室）

医療機器（6）

0-31-1 輸液ポンプ・シリンジポンプ研修の継続教育による質の保証

○岩田 香¹、阿部 葉子²、三枝 典子²
¹前橋赤十字病院 5A 病棟、²前橋赤十字病院 医療安全推進室

0-31-2 当院のMACT活動におけるニュースレターの活用について

○境野 如美¹、庭前 野菊²、三枝 典子³、有馬 ひとみ⁴
¹前橋赤十字病院 臨床工学技術課、²前橋赤十字病院 心臓血管内科、³前橋赤十字病院 看護部、⁴前橋赤十字病院 臨床検査部

0-31-3 心電図モニタ研修がインシデント件数に与える影響

○島田 優香¹、富永 あや子¹、茂木 良祐¹、富田 晴樹²、渡邊 善正³
¹社会医療法人さいたま市民医療センター 臨床工学科、²社会医療法人さいたま市民医療センター 看護部、³社会医療法人さいたま市民医療センター 医療安全管理室 室長

0-31-4 インシデントレポートを用いたスマートポンプの有効性についての検討

○山本 啓央¹、梅村 朋¹、平井 昂宏²、町田 智大³、大澤 裕子³、小寺 泉³、根本 絵里子³、
藤原 道隆^{4,5}、長尾 能雅¹
¹名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部、²名古屋大学医学部附属病院 麻酔科、
³テルモ株式会社 メディカルケアソリューションズカンパニー、⁴名古屋大学 メディカルxRセンター、
⁵東海中央病院

0-31-5 トイレ内急変感知・警報システムの実証試験(ACT-1 study)

○齊藤 朋人¹、小林 信明²、川瀬 亜樹子³、高村 明美³、諏訪 照美³、佐々木 健一⁴、
村川 知弘¹
¹関西医科大学 呼吸器外科学講座、²株式会社 メディカルプロジェクト、³関西医科大学附属病院 看護部、
⁴関西医科大学 イノベーション・ベンチャー推進室 産学・知的財産部門

0-31-6 キセノン紫外線照射ロボットによる周辺医療機器への影響に関する検証

○宇留野 達彦¹、平野 匠^{1,2}、峰松 佑輔¹、楠本 繁崇¹、北村 温美²、高階 雅紀²、中島 和江²
¹大阪大学医学部附属病院 臨床工学部、²大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

14:30～15:30 一般演題（口演）32 研究発表 座長：徳永 あゆみ（関西医科大学 医療安全管理センター）

安全文化（2）

0-32-1 医療従事者のスピーチロックに対する実態調査

○花田 亜美、辻 弘美、山田 健治、佐々木 大介
湘南慶育病院

0-32-2 ICUにおける心理的安全性の向上・定着化に向けた考察
～ ICU 看護師の経験年数による差異と分析～

○中村 香穂、鳥居 奈美
東京都立豊島病院 看護部

0-32-3 Good Job レポートの効果的な共有方法の検討 ～安全文化の醸成を目指して～

○塩津 昭子、西出 康晴、小林 宏太朗、高田 左代美、橋本 徹
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

0-32-4 看護管理者の業務内容調査工程とアンラーニングの機会による業務内容の実態と「働き方」への効果を明らかにする○梅木 妙¹、宮城 久仁子¹、湯浅 瑠美¹、坂本 真紀¹、永倉 いずみ¹、小池 俊子¹、竹下 康平²¹東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部、²東京慈恵会医科大学 先端医療情報技術研究部**0-32-5 看護補助者の心理的安全性がタスク・シフト/シェアに及ぼす影響
～地方大学病院における実態調査と課題の考察～**

○長尾 莉沙、西村 瑞穂

川崎医科大学付属病院 10階西病棟

**0-32-6 医療安全管理者養成研修の受講修了者の活用
～A県看護協会による調査結果より～**

○武田 亜湖

横浜新都市脳神経外科病院

第11会場

京都市勧業館みやこめッセ B1F 大会議室

8:30～9:20

一般演題(口演) 33 研究発表

座長：小野 和代(東京科学大学病院 看護部)

ガバナンス

0-33-1 地域の急性期病院スタッフにおけるチームワーク(T-TPQ)と離職意向との関連：横断的研究

○三倉 直¹、清水 さやか²、高田 俊彦³¹獨協医科大学病院 呼吸器アレルギー内科、²一般社団法人PeDAL、³福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー

0-33-2 病院機能評価認定病院におけるインシデントを把握する仕組みの導入状況

○大西 遼、畠山 洋輔、林 凌甫、瀬戸 加奈子、松本 邦愛、長谷川 友紀

東邦大学医学部社会医学講座

0-33-3 A病院Bセンターに勤務する看護師の呼吸回数測定に関する現状と今後の課題

○阿久津 則子、渡邊 周平、沼尾 ゆかり、鈴木 佳世子、小倉 佳子

獨協医科大学日光医療センター

0-33-4 A病院におけるスマートベッドシステムTM活用状況の実態調査

○鈴木 直美、檜島 喜美、堤 美江

武蔵野赤十字病院

0-33-5 静脈路確保のタスク・シフト/シェアに対する診療放射線技師、医師、看護師の認識に関する調査

○竹井 直樹^{1,2}、別所 一彦²、平河 勝美²、大村 優華³¹パナソニック健康保険組合松下記念病院、²滋慶医療科学大学大学院、³大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

9:30～10:30

一般演題(口演) 34 活動報告

座長：橋本 重厚(福島県立医科大学会津医療センター)

安全文化(3)

0-34-1 医療現場における“システムのGood Point”の探究
－GPET(Good Point Expedition Team)の取り組み－

○深田 良一、中村 紳一郎、蘆田 里美

市立福知山市民病院

0-34-2 医療安全文化の醸成を目的としたセラピストレジデント制度について

○山田 浩二

社旗福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院

0-34-3 医療安全文化調査結果を活用した部署別個別直接介入による安全文化醸成の試み

○青嶋 保志、伊東 昌広、友松 桐子、愛甲 景章、友松 恵子、大西 麻衣、三川 雅人

藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部

0-34-4 事故調査委員会開催後の改善策実施状況評価とPDCAサイクルの構築

○有馬 理加、市塚 清健、加藤 晶人、福島 光浩、佐々木 舞子、川崎 恵吉

昭和医科大学横浜市北部病院 医療安全管理室

0-34-5 当院職員の心理的安全性の現状把握

○鈴木 貴大、伊藤 あづみ、馬場 詩寿子、大釜 健広、佐久間 宏治、内田 明子、石塚 俊治、

佐藤 純彦

医療法人社団クレドさとうクリニック

0-346 インシデント報告件数増加を目指した活動 ～組織の心理的安全性を高め、安全文化の醸成を目指して～

○酒井 佳代、村上 和司、松浦 奈都美、山口 佳津騎、合田 幸伸、近藤 恵、杉元 幹史
香川大学医学部附属病院 医療安全管理部

10:40～11:40 一般演題（口演）35 研究発表

座長：山際 岳朗（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

リスク・マネジメント (5)

0-35-1 転倒事故防止効果が期待される床用速乾性洗浄剤の開発

○中村 尚良¹、末吉 政智¹、杉本 和雄¹、志賀 美寿々²、大槻 和弘²、斎藤 恭一郎²、伏見 了²
¹日華化学株式会社、²ワタキューセイモア株式会社

0-35-2 当法人の外来患者に対する転倒予防活動の効果

○石垣 直輝¹、松本 和章²、麻生 加代子¹、東 秀隆¹
¹医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院、²医療法人社団紺整会 船橋整形外科 西船クリニック

0-35-3 医療事故情報収集等事業の事例を活用した気管支鏡検査の合併症とアクシデントに関する検討

○桜田 晃、奥山 亜希子
みやぎ県南中核病院 医療安全管理室／呼吸器外科

0-35-4 A病院における「患者と確認する安全なベッド環境」パンフレットの効果について～環境整備に着目して～

○佐別當 智愛、佐藤 亜矢、久保 郁子、陣内 佳子
独立行政法人地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター

0-35-5 すべての読影レポートを対象とした既読率の把握と考察

○青木 陽介、竹田 利明、橋本 彩、高室 暁
大船中央病院 放射線診断科

0-35-6 画像検査において検査目的の記載が不十分な際の傾向と「適切な記載をお願いする文書」による周知の効果について

○平澤 裕美¹、勝又 奈津美¹、山内 創聖²、高橋 壺誓²、対馬 義人²
¹群馬大学医学部付属病院 放射線部、²群馬大学医学部付属病院 放射線診断核医学科

12:00～12:50 教育セミナー 13

座長：安宅 一晃（奈良県総合医療センター）

第47回医療安全管理者ネットワーク会議

アラーム疲労を低減し、アラームに迅速に対応できるチームをつくる。

ーモニタアラームチーム：MACT立ち上げの旅に出ようー

○鈴木 真
社会医療法人友愛会 TQM推進室

共催：ニプロ株式会社

13:20～14:20 一般演題（口演）36 活動報告

座長：塩津 昭子（倉敷中央病院 HQM推進センター 患者安全推進室）

転倒・転落 (3)

0-36-1 エスカレーターでの転倒防止の取り組み

○賀川 綾野¹、梅下 浩司¹、小島 由美子²、山田 眞佐美¹、村下 雅彦¹、加藤 鉦智¹、
松本 智香子¹、小林 紗希¹
¹大阪国際がんセンター、²大阪府看護協会

0-36-2 転倒転落防止の新たな取り組みー対象行動別転倒転落防止策判定シートの作成ー

○澤井 美奈子、吾妻 宏紀、星賀 正明、金 明博
大阪医科薬科大学三島南病院

0-36-3 転倒転落予防フローチャート活用による転倒予防の質的向上と転倒率の減少

○大内 道子、赤城 香、小林 義和、大岩 喜恵、牧野 光恭
公立西知多総合病院 医療品質管理センター 医療安全管理室

0-36-4 当院の転倒転落アセスメントの課題

○西出 康晴、塩津 昭子、高田 左代美、小林 宏太郎、橋本 徹
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

0-36-5 転倒・転落防止プロセスの手順遵守に着目した転倒・転落事象の実態調査

○柳沢 咲子、北野 由起恵、中田 知廣、谷 篤人、岡野 由美子
地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院

0-36-6 Bathel Indexを用いた転倒転落要因分析

○築地 さなえ、村中 裕之、吉田 健一、中嶋 いくえ、後藤 啓士郎、原武 義和
済生会熊本病院 TQM部 医療安全管理室

14:30~15:40 一般演題(口演) 37 活動報告

座長：山本 崇(大阪赤十字病院 薬剤部)

教育(2)

0-37-1 インシデントレポートや研修報告書、接遇研修を用いた外国人介護職員の看護介護能力向上への取り組み

○大塚 裕一¹、菅原 健一¹、加藤 淳²、藤岡 耕一³、神谷 周良¹、神谷 亮吉³
¹医療法人裕徳会 港南台病院、²医療法人裕徳会 よこはま港南台地域包括ケア病院、
³医療法人裕徳会 統括経営本部

0-37-2 医療サービスの質向上に向けたコーチング型支援(介護福祉士のスキルばらつき改善事例)

○藤村 七海^{1,2}、矢ヶ崎 昌史^{1,2}、萩無里 千史^{2,3}、鶴飼 正二^{2,4}、百瀬 達也^{1,2}、山崎 明子⁵、
川上 久美子⁶、柳澤 征也⁶、島崎 唯香⁶、小嶋 賢太⁶
¹社会医療法人財団 慈泉会相澤病院 QI室、²社会医療法人財団 慈泉会 本部品質戦略部、
³社会医療法人財団 慈泉会相澤病院 医療安全推進室、
⁴社会医療法人財団 慈泉会相澤病院 リハセラピスト部門、
⁵社会医療法人財団 慈泉会相澤病院病棟支援センター、
⁶社会医療法人財団 慈泉会相澤病院病棟支援センター 病棟支援課

0-37-3 多職種による医療安全ラウンドの実践と評価

○原田 智子、東本 昌之、上別府 昌子、福田 秀文、加治屋 直子、中川 秀生、松元 清高、
隈元 美智子、柿元 良一
社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院

0-37-4 多診療科・多職種による治療前「ハイリスク症例カンファレンス」のすすめ

○瀧浪 将典¹、佐藤 恵²、有賀 庸代²、千々谷 真理子²、影井 淳子²、鈴木 浩子²、
小田 知香子²、小菅 誠²、大城戸 一郎²
¹東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部門、²東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全推進部

0-37-5 「開通忘れゼロ」を目指してー薬剤師による2槽バック輸液安全使用研修の実践と評価

○椎名 治揮¹、矢内原 仁¹、河野 由江¹、大山 康子¹、菅沼 良恵¹、鈴木 美加¹、福田 宏嗣^{1,2}
¹獨協医科大学病院 医療安全推進センター、²獨協医科大学病院 心臓・血管外科

0-37-6 スマートインフュージョンシステム導入によるICUシリンジポンプ投与工程の危険度低減効果の検討～FMEAシミュレーション研究～

○平井 昂宏¹、山本 啓央²、宇佐美 麻衣子³、三浦 桃³、梅村 朋²、小林 恵里³、鈴木 章悟¹、
長尾 能雅²、秋山 浩一⁴
¹名古屋大学医学部附属病院 麻酔科、²名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部、
³名古屋大学医学部附属病院 看護部、⁴名古屋大学大学院医学系研究科 麻酔・蘇生医学分野

0-37-7 病棟実習を活用した医学生向け危険予知トレーニング(KYT)の教育的意義

○内山 勝文^{1,2}、荒井 有美^{2,3}、安藤 寿^{2,4}、箱田 美知恵³、富澤 淳^{2,5}、玄海 泰子^{2,3}、宮島 慧^{2,3}、
番匠 章子^{2,3}

¹北里大学医学部 医学教育研究開発センター 医療安全・管理学研究部門、²北里大学病院 医療安全推進室、

³北里大学病院 看護部、⁴北里大学医学部 小児科学、⁵北里大学病院 薬剤部

ラーニングスペースセミナー 京都勧業館みやこめっせ 1F ホワイエ

9:30~10:30 ラーニングスペースセミナー 5

ミゼアセーフ使用定着までのプロセスとその結果

講師：鮫島 瑠美(医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 看護部長室)

共催：株式会社ニトムズ

10:50~11:50 ラーニングスペースセミナー 6

ミゼアセーフX導入による効果-自己抜去・スキンテア予防の観点から-

講師：岡田 依子(社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院 医療安全管理室)

共催：株式会社ニトムズ

13:40~14:40 ラーニングスペースセミナー 7

1.講演

医療安全と経鼻胃管挿入時のポイント

講師：小池 大助(名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部)

タムガイドを用いた経鼻胃管挿入時の解剖学的ポイント

講師：高橋 潤次(国際医療福祉大学病院 消化器外科病院)

2.経鼻胃管挿入 ハンズオン

人体モデル/タムガイドを用いた経鼻胃管挿入

共催：株式会社大塚製薬工場

初心者セミナー

京都市勧業館みやこめっせ 1F 第2商談室

9:00～9:40 初心者セミナー 3

嫌われない医療安全、コツはどこにありますか？

講師：奥村 将年(藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部)

9:50～10:30 初心者セミナー 4

話題のあの事故あの判決、プロのココだけ話

講師：大磯 義一郎(浜松医科大学医学部法学)

13:40～14:20 初心者セミナー 5

職員への医療安全教育って何がオススメですか？

講師：荒井 有美(北里大学病院 医療安全推進室)

14:30～15:10 初心者セミナー 6

どうする？組織を破壊するこの発言、あの行動

講師：宮崎 浩彰(関西医科大学 医療安全管理センター)

交流カフェ

京都市勧業館みやこめっせ 1F 第3商談室

9:20～10:20 医療安全管理者：初心者カフェ

マスター：新村 美佐香(菊名記念病院)
大原 志歩(済生会横浜市東部病院)
金子 美香子(横須賀市立市民病院)
下郡 美香(総合新川橋病院)

13:40～14:50 医療安全管理者：(経験者) カフェ
「医療事故に関わった医療者(当事者)への支援」

マスター：遠田 光子(日本医療評価機構)
深澤 美由記(上尾中央総合病院)
石津 真由美(東住吉森本病院)
沼田 恵理(PMDA)

ポスター会場2

京都市勧業館みやこめっせ 3F ロビー

10:40～11:30 一般演題（ポスター）28 研究発表 座長：深見 達弥（島根大学医学部附属病院 医療安全管理部）
地域と安全

P-28-1 認知症高齢者の家族介護者が欲する社会資源

田端 莉奈 ほか
国立大学法人旭川医科大学旭川医科大学病院 看護部

P-28-2 あかし医療安全ネットワークの持続可能な活動への展望

坂本 広子 ほか
神戸市立西神戸医療センター

P-28-3 発達障害の子どもをもつ母親が子どもの強みを大切にしたい進路選択に寄り添うありようからの支援の検討

前原 宏美
鹿児島純心大学看護栄養学部看護学科

P-28-4 医療機関間の相互評価を通じた医療安全管理者の経験と学び

三浦 あずさ ほか
医療法人健裕会 永富脳神経外科病院 看護部

P-28-5 介護老人保健施設における看護師と介護福祉士の道徳的感受性と介護サービスの認識の関連：ベイズ統計による職種間比較

中橋 清子 ほか
高知大学大学院総合人間自然科学研究科

P-28-6 ※演題取下げ

10:40～11:30 一般演題（ポスター）29 研究発表 座長：武田 理宏（大阪大学大学院医学系研究科医療情報学）
リスクマネジメント（7）

P-29-1 医療機関における無断撮影・SNS投稿の課題と対応策 ―癌患者の事例を通じた考察―

中谷 直喜 ほか
上尾中央総合病院 腫瘍内科

P-29-2 麻酔科シミュレーションでの共同のかかわりを可視化する：AI技術を用いた麻酔科医-看護師インタラクションでの共同注視・頭部姿勢検出とその相関性

佐藤 仁 ほか
横浜市立大学附属市民総合医療センター／大阪大学 医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

P-29-3 短時間研修による指差し呼称訓練の効果検証

島田 尚哉 ほか
東神戸病院 管理事務室

P-29-4 フィンガー式パルスオキシメータ3機種の性能評価 ―どの機種も性能は同じ？―

磯 雅 ほか
市立旭川病院 臨床工学室

P-29-5 環境設定ピクトグラムは入院患者の転倒・転落率を低下させた

村田 康介 ほか
南労会 紀和病院 看護部

P-29-6 医療現場のサイバーセキュリティ確保に向けて坂口 一樹
日本医師会総合政策研究機構**10:40～11:30 一般演題（ポスター）30 研究発表 座長：飯干 泰彦（滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科）
リスクマネジメント（8）****P-30-1 医療従事者の年齢とインシデント発生傾向の分析**三好 毅志
社会医療法人健生会さくら診療所**P-30-2 手術関連インシデントに対する GAS法を用いた構造化デブリーフィングの有効性と SVP 対策への一考察**田島 瑞己 ほか
社会医療法人社団慶友会 慶友整形外科病院 看護部手術室／同 医療安全推進室**P-30-3 「身体的拘束を減らす」と「転倒を防ぐ」は両立できるか？－看護師の視点からみた実践的要因の分析－**西岡 さおり ほか
綾部市立病院**P-30-4 新型コロナウイルス陽性患者の反復シミュレーション教育からの考察**斎藤 恵里華 ほか
獨協医科大学日光医療センター**P-30-5 A手術室の地震対策に向けた知識・意識向上－勉強会とシミュレーションを通して見えた課題－**西 七奈実 ほか
和泉市立総合医療センター 手術室**P-30-6 “報告する文化”を育てる ～医療現場におけるインシデント報告の促進と心理的安全性の向上～**宮本 直武 ほか
士別市立病院 診療技術部診療放射線科／士別市立病院 医療安全管理室／北海道科学大学 保健医療学研究科 医療技術学
専攻修**10:40～11:30 一般演題（ポスター）31 研究発表 座長：森脇 睦子（東京科学大学 医療本部 クオリティ・マネジメント・センター）
リスクマネジメント（9）****P-31-1 重度損傷を伴う院内転倒・転落事例発生要因の検討**松山 尚子 ほか
札幌東徳洲会病院**P-31-2 医療従事者が認識する転倒転落の背景について
－テキストマイニングを用いたインシデントレポート分析－**今岡 泰憲 ほか
松阪市民病院 リハビリテーション室**P-31-3 KYT活用が与えた転倒転落予防の意識の変化とリスクセンス**水田 靖子 ほか
大西脳神経外科病院脳卒中センター**P-31-4 小児入院患者における転落インシデントの分析と課題－保護者付き添い下での発生状況に着目して－**国 典子 ほか
地方独立行政法人 福岡市立病院機構 福岡市立こども病院

**P-31-5 高齢者のADL自己評価と看護師評価の乖離に関する要因の探索的検討：
臨床における転倒予防支援への活用に向けて**伊吹 奈緒子 ほか
滋賀医科大学医学部附属病院**P-31-6 当院内における患者の転倒・転落についての検討**安心院 康彦 ほか
帝京大学医学部附属病院 安全管理部／帝京大学医学部救急医学講座**10:40～11:30 一般演題（ポスター）32 研究発表**

座長：田中 和美（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学）

教育（2）**P-32-1 医学生の患者安全教育はどう評価する？医療職向けのH-PEPSS日本語版の本邦の医学生への適応拡充の
検討**岡澤 成祐 ほか
富山大学附属病院 第一内科／富山大学附属病院 卒後臨床研修センター**P-32-2 A病院の多職種での医療対話推進への取り組み－医療対話推進室 実務部会の活動を通して－**藤咲 珠代 ほか
東京女子医科大学病院 医療対話推進室**P-32-3 臨床研修医からのインシデントレポートの検討**内藤 光三 ほか
地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 医療安全管理部**P-32-4 ICLS コース運営5年間の実績と今後の課題**玄海 泰子 ほか
北里大学病院 医療安全推進室／北里大学病院 看護部**P-32-5 危険予知訓練による看護学生の臨地実習前医療安全教育
－危険予知訓練前後にアンケート調査を実施して－**山口 今日子
第一薬科大学看護学部特別研究員**P-32-6 医学科生との合同「Team STEPPS」研修が看護学科生のリスク感性と多職種連携能力へ与える影響**松村 初恵 ほか
島根大学医学部看護学科臨床看護学講座**10:40～11:30 一般演題（ポスター）33 研究発表**

座長：平河 勝美（滋慶医療科学大学大学院）

教育（3）**P-33-1 テキストマイニングを用いた生命維持管理装置に関する教育内容の検討**木田 奈々美 ほか
滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科**P-33-2 看護部長との関係性に対する看護師長と看護師の認識の相違
－テキストマイニングによる自由記述の可視化－**佐々木 京子 ほか
高知大学大学院総合人間自然科学研究科／総合病院 三原赤十字病院 看護部**P-33-3 ICU 看護師が語る急変対応カンファレンスの経験と期待－テキストマイニングを用いた面接内容の分析－**程島 健太 ほか
埼玉医科大学総合医療センター 看護部

P-33-4 配属年数の浅いスタッフを対象とした人工呼吸器に関する教育内容の検討ーテキストマイニングを用いて
林 佑哉 ほか
滋慶医療科学大学医療科学部臨床工学科

P-33-5 テキストマイニングを用いた輸液ポンプに関する新人教育内容の検討
塚本 桃子 ほか
滋慶医療科学大学医療科学部臨床工学科

10:40～11:30 一般演題（ポスター）34 研究発表

座長：佐藤 暢夫（聖マリアンナ医科大学病院 麻酔科／集中治療センター）

急変対応・手技

P-34-1 食道癌NACにおける中心静脈用カテーテルを流用したミッドラインカテーテル法使用の安全性と有用性の検証
小泉 匡司 ほか
岡山済生会総合病院

P-34-2 外来看護師の震災発生を想定した訓練実施前後の意識調査
片山 久美子 ほか
独立行政法人 労働者健康安全機構九州労災病院 門司メディカルセンター

P-34-3 Rapid Response Team 要請へと至った看護師の臨床判断の分析
松本 康代
徳島県立中央病院

P-34-4 呼吸器系チューブ抜去アクシデント事例発生の要因に関する調査
美野 美香 ほか
近畿大学病院 医療安全対策部

P-34-5 ICUにおける早期リハビリテーションの危険場面に関する看護師の認識：質問紙調査自由記述の質的分析
勝山 あづさ ほか
大阪医科薬科大学 看護学部

P-34-6 VTE予防システムの運用と現状
三枝 典子 ほか
前橋赤十字病院 医療安全推進室

10:40～11:30 一般演題（ポスター）35 研究発表

座長：安田 あゆ子（国立病院機構名古屋医療センター 医療安全管理部／外科）

報告制度

P-35-1 医療安全レベル毎の病床数あたりインシデント・アクシデントレポート数のヒストグラムの特徴
柴田 敏之 ほか
大阪府健康医療部

P-35-2 報告は増えた、でも本当に安全？ー患者影響度から見るヒヤリハットの実態ー
片田 博司 ほか
公立豊岡病院組合立公立豊岡病院 医療安全管理室

P-35-3 医師の報告率向上が医療安全に与える影響 ～5年間の継続的啓発活動の分析～
角田 和博 ほか
ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院 安全推進部医療安全対策室

P-35-4 グッドジョブ報告奨励が医師の医療安全文化に及ぼす影響橋本 徹 ほか
倉敷中央病院患者安全リスク対策グループ**P-35-5 ICUの配属年数が浅い看護師のインシデント分析に関する研究**村岡 さやか ほか
群馬大学医学部附属病院**P-35-6 探求アプローチでヒアリングを行ったインシデント事例の考察**中村 麻弥 ほか
泉大津急性期メディカルセンター クオリティ管理センター 医療安全管理室

10:40～11:30 一般演題（ポスター）36 研究発表 座長：舟越 亮寛（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部）
医薬品（4）**P-36-1 看護師による内服薬投与時のエラー低減のための業務評価と改善**三橋 立 ほか
順天堂大学医学部附属練馬病院 脳神経外科**P-36-2 リフィル処方箋の現状と課題 ―薬局ヒヤリ・ハット事例からの考察―**谷川 瑞貴 ほか
公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部**P-36-3 週一製剤などの投与忘れに対する医療安全看護部リンクナースの取り組み**牧 美幸
白杵市医師会立コスモス病院**P-36-4 薬剤師以外の者に対する取り揃え間違いに関する教育体制の検討**阿部 誠也 ほか
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部**P-36-5 注射薬調製段階のエラー分析と対策の検討**荒木 尚美 ほか
京都大学医学部附属病院 ICU**P-36-6 医薬品安全性情報報告の標準化のための報告システムの実装に関する研究**土井 俊祐 ほか
千葉大学医学部附属病院

10:40～11:30 一般演題（ポスター）37 研究発表 座長：加藤 果林（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）
タスクシフト・チーム医療**P-37-1 特定行為研修修了者の3年間における活動成果と今後の展望**山崎 真由 ほか
札幌東徳洲会病院**P-37-2 皮下埋め込み型中心静脈ポート指導ナース養成プログラムの運用における課題と今後の展望
～穿刺・抜針看護師の育成～**菅 千美 ほか
秋田大学医学部附属病院**P-37-3 精神科無床一般科病院における院内自殺予防対策への取り組み**鈴木 美由紀 ほか
聖隷浜松病院 安全管理室

P-37-4 A病院高度救命救急センターにおけるワーク・エンゲージメントを高める取り組みについて
宮里 百華 ほか
佐賀大学医学部附属病院 看護部

**P-37-5 Patient Journey Mapping を用いたワークショップの教育的効果：
医学生 の患者中心性に対する意識変容を探索する逐次的混合研究**
清水 郁夫 ほか
千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部／千葉大学大学院医学研究院 医学教育学

P-37-6 診療放射線技師養成学校におけるタスク・シフト／シェアに伴う教育方法の検討
米坂 聡一郎 ほか
大阪ハイテクノロジー専門学校 診療放射線技師学科／滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科

10:40～11:30 一般演題（ポスター）38 研究発表
座長：山内 桂子（東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室）
クライシスマネジメント

P-38-1 日本における Second Victim Phenomenon の実態とその関連要因：JaSeVic Study
相川 玄 ほか
関東学院大学 看護学部

**P-38-2 日本の看護師における患者安全インシデント経験後の Second Victim 現象の実態とその影響要因：
JaSeVic-RN**
友岡 史沙 ほか
熊本大学 生命科学研究部

P-38-3 看護師特定行為実践に関連する医療事故状況の検討（第一報：看護師特定行為に係る資格等別の特徴）
梶原 志保子 ほか
名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター看護キャリア支援室

**P-38-4 看護師特定行為実践に関する医療事故状況の検討（第二報：特定行為が適切に実施されているか、
および特定行為に係る看護師の事故防止への貢献に着目して）**
安立 なぎさ ほか
名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア支援センター 看護キャリア支援室

P-38-5 ※演題取下げ

P-38-6 看護師等における医療事故に関する行政処分の現状と課題
中山 志都子 ほか
神戸大学大学院医学研究科医療創成工学専攻 後期課程／八尾徳洲会総合病院 医療安全管理部